



ひな人形を鑑賞する保育園児と干支の絵馬（円内）

ひな人形でくずま～る鮮やか 園児たちも大喜び

町商工会女性部が主催するひなまつりが2月28日から3月3日までくずま～るで開催され、会場となった商工会前の廊下がひな人形やつるし飾りなどで彩られました。2月28日と3月1日には干支の絵馬作りも行われ、さまざまな色のへびの押絵が施された絵馬も並びました。

葛巻保育園の園児たちは「保育園のおひなさまと一緒に」と歓声を上げ、時折ひな人形を指さしながら鑑賞していました。くずま～るを訪れた人は色鮮やかなひな人形や飾り付けに春の訪れを感じている様子でした。

葛巻中が町社会福祉協議会へ 町の高齢者福祉に役立てて

3月10日、葛巻中学校で同校全校生徒が出席のもと、代表の近藤晴希さん（3年）から町社会福祉協議会の辰柳敬一会長へ血圧測定器が寄贈されました。

これは毎年8月に地区ごとに生徒と保護者が行っている資源回収の益金31,122円の一部で購入されたもので、晴希さんは「各地域で協力して集めました。町の福祉に活用してください」とあいさつし、辰柳会長は「町民の健康管理につなげていきたい」とお礼を述べました。血圧測定器は高齢者福祉センターに設置されます。



血圧測定器を辰柳会長へ手渡す晴希さんと寄贈された血圧測定器（円内）



鈴木町長（手前）から交付金を受け取る夫婦

定住奨励金・新婚ライフサポート金 暮らしの豊かさを高める

定住奨励金および新婚ライフサポート金交付式は2月25日、くずま～るで行われ、鈴木重男町長から3組に奨励金などが手渡されました。

鈴木町長は「若者が結婚から子育てまで町に定住しながら安心して暮らせるよう、さまざまな支援を継続していきたい」とあいさつ。交付を受けた山下勇太郎さん・実奈未さん夫婦（四日市）は「町からサポート金を通じて支援していただけて大変ありがたい。サポート金はこれからの生活に役立てたい」と話し、町での豊かな暮らしに期待を寄せていました。

自治会連合会研修会 実践からまち育てを学ぶ

2月27日、町自治会連合会研修会（同連合会主催）がグリーンテージで開催され、各地区の自治会長や役場の地域担当職員など45人が参加しました。

講師を務めた弘前大学特任教授の北原啓司さんは「まち育てのススメ」と題し講演を行い、地域に住む住民が町を育てる主人公であり、誇りを持てる居場所は自分自身でつくるのが重要だと伝えました。北原さんがこれまで実践してきた取り組みを紹介すると、参加者らは頷きながら、熱心に耳を傾けていました。



熱心に講演を聞く参加者と講師の北原さん（円内）

葛小いのちを守る日集会 震災から14年教訓生かす

3月11日、葛巻小学校で葛小いのちを守る日集会が行われ、同校全校児童が参加しました。

集会では東日本大震災発生時に大槌中学校長だった小野永喜さんが、震災時の実体験を映像や写真を交えて話し「自分の命は自分で守りましょう。今日家に帰ったら、家族の皆さんと避難場所など確認しましょう」と震災からの教訓を伝えました。その後は、災害時に学校から保護者へ児童を引き渡す訓練も行われ、児童や教員、保護者ともに改めて震災への思いや命を守るための備えの重要性を考える日になりました。



真剣な表情で耳を傾ける児童と震災での実体験を話す小野さん（円内）



くずまきテレビの放送番組を視聴する審議委員

令和6年度放送番組審議会 番組への意見などを共有

2月27日、令和6年度放送番組審議会の第2回目がくずま～るで開催されました。

審議会はくずまきテレビの番組づくりの充実と向上を図ることを目的として、放送法に基づいて開催。審議委員10人が番組への意見や感想などを出し合いました。審議委員からは「葛巻町の昔の映像をもう一度視聴したい」、「防犯や防火に関する情報を映像で強く呼びかけてもらいたい」などの意見が寄せられ、事務局はよりよい番組づくりに際し、一層の情報発信に努めていくことなどを審議委員に伝えました。